

Desert Wind

(No.31 6月号)

■ 人生の海の嵐 ■ (マタイ8:23-27)

今日の聖書のお話は、イエス・キリストが、ガリラヤ湖の嵐を一言で鎮められたという奇跡物語です。嵐の中で、イエス様と弟子たちが乗っていた舟が沈みそうになりましたがイエス様は眠っておられました。弟子たちは、恐怖に捕えられ、イエス様を起こし、「主よ、助けて下さい。私たちは溺れそうです」と言いました。するとイエス様は、風と湖をお叱りになり、嵐を鎮められたのです。

この時の弟子たちの叫びは、実は滅び行く人間が救い主に助けを求める叫びです。また、この叫びは私たちの人生の叫びでもあります。仕事をなくし生活の土台が失われる。突然ガンを宣告され、目の前が真っ暗になる。夫婦や親子の関係が行き詰まる。そういう事があるたびに、私たちは悩み、苦しみ、何も出来ない自分の弱さを痛感します。しかし、そういう中で一つの決定的な救いは、たとえその嵐がどんなに大きくても、イエス・キリストがあなたの人生という舟に乗っておられるなら、あなたを苦しめる嵐を鎮めて下さるということです。

①恐れの本質

弟子達はイエス様のところに来て、「主よ、助けてください。わたしたちはおぼれそうです」と言いました。弟子たちは、なぜ怖がったのでしょうか。私たちは、大きな湖の真中で舟が嵐にあったのだから、彼らが怖がるのも当然だと思うかも知れません。しかし、そういう見方をしている限りは、物事の本質は見えてきません。それは、うそではないのですが、実はうそなのです。何か目に見える事実があるからといって、それは必ずしも物事の本質ではないのです。本当は、その背後に、目に見えないもっと大事な事実があるのに、それに気付かないで、目に見えるものを見て、それに反応をしているということがよくあるものです。

ここでひとつ明らかにしたいことは、嵐が起ったので弟子たちに恐れが生じたのではないということです。彼ら

が恐れたのは、自分たちを湖に沈めてしまうものとして嵐を見たからなのです。しかし、あとで解かるように、実はその嵐は、弟子たちを湖に沈めるものではなく、彼らに素晴らしい信仰体験を与えるためにイエス様が導かれたものだったのです。

②恐れなくてもいい理由

私たちは、目に見えない本当のものが見えてくると、そこに恐れなくてもいい理由が見えてきます。12人の偵察隊の話の思い出してください。あの時、ヨシヤとカレブは、他の10人と一緒に同じものを見たのですが、この二人の報告は他の10人の報告とは全く別のものでした。では、なぜ同じものを見たにも拘らず、全く違うことを感じたのでしょうか。それは、この二人が、カナン征服の可能性を、他の10人のように、自分達の強さという観点からではなく、神の約束という観点から見ていたからです。

ですから、たとえ相手がどんなに強く見えても、それはどうでもいいことで、神様が勝利を与えると約束されたのなら、敵が強くて弱くても関係なく勝利が与えられるのです。したがって、この神の約束という視点から見れば、どんな試練の中でも、恐れなくてもいい理由が見えてくるのです。

③嵐を静めるキリスト

私たちがどんな状況に置かれていても、恐れに支配されずに勝利するためには、問題からスタートするのではなく、スタートラインが「キリストが共におられる」ということでなければなりません。この事が、私たちが恐れと、不安と、思い煩いに支配されない秘訣であり、クリスチャンであることの特権です。嵐が来て、大波をかぶり、舟がひっくり返りそうになっている状況はうそではないのですが、弟子たちは、そのような危機の中にいる者ではなく、キリストの導きと守りの中にいる者だったのです。私たちがその事実を忘れない者でありたいと思います。

LVJCC 牧師: 鶴田健次

DREAMS COME TRUE

- ☞ 教会堂の建設
- ☞ 敬老ホームの設立
- ☞ 幼稚園の設立

お祈りのリクエスト

日本の家族の救いのために

スモールグループのオikos伝導のために

入門者クラスのために

妻兄、さおり姉、えいみ姉

英語部の働きのために

小さな子供を持つお

母さん方のクラスのため

に(香織姉担当)

聖書通読マラソンのた

めに

倉田一徳さんの脳腫

瘍の癒しのために

神崎先生の目の癒し

のために

新井雅之兄の脳内

出血の後遺症のリハビリ

と癌治療のために

病の方の癒しのために

.....

Desert Wind では

1400字程度のお証、また

質問を募集しています。

ご意見・質問等何

でもどうぞ。

lvjccnews@hotmail.com

編集: 真子ガーディナー

松岡みどり

■ 人の計画と神の計画 ■

証し: 鶴田潤子

私の人生に神様の導きが始めたのは、今から33年前、留学でアメリカに来てからです。渡米後、初めて迎える感謝祭の休日に、あるクリスチャン団体の主催するサンフランシスコへのバスツアーがありました。安いという理由で参加しましたが、主催する側にはある目的があったようです。行ってみて分かったことですが、これは、ただの観光ではなく、アメリカ人のクリスチャン家庭にホームステイをさせ、日曜日の礼拝に出てもらい、キリスト教に触れさせることが目的だったようです。それ以来、その団体から時どき誘いが来るようになりました。当時の私は貧乏学生で、つましい生活をしていたので、集会の後の食事が楽しみで行くようになりました。そんな気持ちでしたので、涙を流しながら聖書の話や自分の体験を話す人々を見て、なぜそんな事で泣いたり感動したりするのが理解できず、全く場違いな所にいる自分が不思議でした。

私の留学の費用は、アメリカで学ぶと決めてから一生懸命にアルバイトをして準備したので、必要最低限の生活を余儀なくされ、今では信じられないほど質素なものでした。親に話せば助けてもらう事はできましたが、若さのゆえか、これは自分の力で乗り越えなければならないという思いでした。そういう中で、諦めずに頑張れば何でもできるという思いが固くされていきました。

そして、アメリカに来た目的の GIA(宝石学校)に入学し、大変な学びを終了することができ、卒業と同時に鑑定士の資格をもらうとすぐに日本にある業界大手への就職が決まりました。当時としては破格の高給でした。同じ働くなら、誰よりも多い給料で、資格が物を言う、性別年齢に差別されない仕事というのが私の願いでしたので、私の計画どおりに全てが順調に進んでいきました。そのために、若い私は知らないうちに有頂天になっていました。しかし、神様は、私が帰国し、神から離れて優越感だけが増長されるかも知れない生活に、神様の方法で介入されたのです。私の友達の一人、彼が日本の商社で共に働いていた時の友人が大学院で学ぶ為に留学に来るということで紹介されたのが今の主人でした。日本に帰国すると思っていた両親は、私が突然

結婚すると言ったので驚きと共にひどく気分を害し、勝手にしるということになってしまいました。そこで主人がその手紙に対して自己紹介と共に手紙を書き、主人の母が実家の両親を訪ねてくれたことによって両親は快く私たち二人の結婚を了承してくれました。

そして、ロサンゼルスダウンタウンにある宝石商での仕事を与えられ働く事になりました。それ以来、教会に行くことはありませんでしたが、その後、舟田さんという主人の親友の熱心な伝道の働きを通して WLA にある日本人教会に行くようになりました。その間、舟田さんが主人に語る神様の話を私も一緒に聞きながら、少しずつ今まで何も知らなかった聖書について、また神様について、少しずつ分かるようになりました。そんなある時、その教会で特別伝道集会所が持たれ、その時の講師であられた中野雄一郎先生の涙ながらに語られる説教を通して、今まではピンと来なかったイエス・キリストの十字架をとて身近に感じる事ができました。そして、説教の後の招きの時に、「今日イエス・キリストを救い主として信じる人は手を挙げて下さい」という中野牧師の言葉に、自分の意志とは関係なく、私の右手は挙がっていたのです。そして、さらに不思議なことに、別に示し合わせたわけではないのに、横にいた主人の手も挙がっていました。この事を通して受洗へと導かれ、まずは信仰のスタートラインに立つことができたのです。

以前の私の宗教観といえば、宗教は、病人や、弱い人達の心の拠り所くらいにしか思っていませんでした。信じたい人は信じればいけど、自分には必要ないと思っていました。ですから、あの伝道集会所で自分の意志に関係なく手を挙げて信仰の表明ができたのは、まさに聖霊の働きであったことをあとで知ることができました。

それからあつという間に30年が過ぎていきました。ビジネスマンだった主人は牧師になり、華やかな宝石の鑑定士の道を歩む筈だった私は牧師夫人。二人供が以前に歩んでいた道とは全く違う道を歩むようになりました。自分で決めた人生とは何と不確かなものでしょう。しかし、主に導かれた人生は、結局は、永遠の祝福に至る最良の人生であることを今更のように確信するものです。

「人の心には多くの計画がある。しかし、主の御心にかかったものだけが実現する。」(箴言 19:21)



編集室 便り

この春はメキシコより発生した新型インフルエンザが世界中を震撼させました。特に人口が密集している日本では感染拡大が懸念されます。寒い冬が来る前には、新しいワクチンで予防接種できればいいですね。

さて、頼姉妹による、朗読 CD の第二作目、「天国の到来」が出来上がりました。牧師である著者のマーリン・キャロラース氏は「賛美の力」、「獄中からの賛美」などの本も有名です。米国では 1100 万部以上も出版され、多くの言語に訳されるなど世界中の人に力強いメッセージを届けています。「天国の到来」は現在は廃盤になっているので、この機会に是非朗読 CD を聴いてみてはいかがでしょうか？

日毎に暑さが増す6月皆様のご健康が主によって守られますように。

